



発行 緒川地区コミュニティ  
推進協議会 ☎83-3006

編集 総務・広報部  
機関紙編集委員会

発行日 2023年1月1日  
第205号



なにとなく  
ことはよいこと あるごとし  
元日の朝 晴れて風なし (石川 啄木)

泉書道会 浦山洗道さん

迎春の朝  
あつはる  
あつはる  
あつはる  
あつはる

# 年頭のごあいさつ

コミュニティ推進協議会会長 内藤明綱

明けましておめでとうござい  
ます。会員の皆様には、心より  
お喜び申し上げます。

新型コロナウイルスの感染症  
も落ちついたように見えました  
が、まだまだ安心はできません。  
感染対策をしっかりと取りなが  
ら、いろいろな活動を進めてい  
く必要があります。インフルエ  
ンザと同じくらい効く薬が出て  
くれば心配はなくなっていきそ  
うですが、どうでしょうか。

今年度も盆踊り大会をはじめ  
として、区民体育祭も中止とな  
り、とても残念に思っています。  
しかし、11月に行われたコミュ  
ニティまつりは、縮小開催であ  
りながら、晴天に恵まれ、大盛  
況に終わることができ、ほっと  
しております。

さて、今年度は緒川地区自  
主防災会で、地区防災計画を作  
成しました。一昨年の10月、昨



年の1月まで、町の防災危機管  
理課及び東浦防災ネットの指導  
を受け、区の役員をはじめ民生  
委員の方々が、ワークショップ  
を交え話し合いを持ち作成しま  
した。そして、この計画を今後  
の活動に少しずつでも生かして  
いくことが大切です。今年度は  
手始めとして、民生委員と区の  
役員がペアを組み、避難行動要  
支援者の自宅を確認し、いざと  
いう時に役立てようと考えてい  
ます。

コロナ感染が早く収束し、皆  
様のお元氣な姿が見られること  
を祈念いたします。

## 東浦かるたの中の「緒川」トピックス

### 地蔵院(かきがら地蔵堂)



にわか雨  
にわかに  
軒とかります  
地蔵院

本尊は、昔この地蔵院の東が海  
であったころ、地蔵菩薩の木像が  
流れ着き、かき殻が付いていたこ  
とから「かきがら地蔵」と呼ばれ  
るようになりました。

石造りの井戸があり、「沢瀉  
(おもだか)の井戸」と呼ばれて  
います。昔、緒川3代城主水野清  
忠公(於大の方の祖父)に子がな  
く、奥方がこの地蔵に願をかけ祈  
願を続けると満願の日、井戸の中  
に一茎の沢瀉の葉が浮かんでお  
り、葉に永楽銭がのつていまし  
た。緒川城に持ち帰りお祈りす  
ると子宝(於大の方の父忠政)  
を授かったといわれています。

境内のイブキの木は樹齢約

300年、大木はシンパクとい  
います。カイヅカイブキはこの木の  
園芸種。町天然記念物に指定され  
ています。

地蔵院には「うなり石」があり  
ます。昔、緒川城にあったが時々  
気味悪い唸り声をあげたので、寛  
延2年(1749)この地に移す  
と唸るのがやみました。

緒川城に一緒にあった石が「夜  
なき石」です。この石は雨の降る  
寂しい夜に犬の遠吠えのような  
悲しいなき声を発することがあ  
りました。「お気の毒な最期を  
遂げられた、緒川城主水野信元  
(於大の方の兄)さまの恨みの声  
にちがいない」と噂しました。村  
人は思い切つてうなり石と同時に  
この石を入海神社へ運び、手洗い  
石にするとなき声がやんだとい  
うことです。

東浦ふるさとガイド 河合美三男



おもだかの井戸

# 122おがわコミュニティまつり



いずれのコーナーも大盛況



# おがわっ子広場

## 5から6への道

5年 竹内勇陽



ぼくは、もうすぐ6年生。今から、6年生の目標と共に、5年生のふり返りを6つ書きます。

1つ目の目標は、自分に強く、みんなにも強くです。なぜなら、5年生では、みんなには強いのに、自分にはあまかったからです。



2つ目の目標は、めんどくさがらずにです。なぜなら、5年生ではめんどくさがって自習では漢字をやらず、テストで悪い点だったからです。

3つ目の目標は、いかりをおさえることです。なぜなら、5年生ではいかりをおさえられず、すぐにおこってしまったからです。

4つ目の目標は、ゆずり合う心です。なぜなら、5年生では自分のことしか考えられなかったからです。

5つ目の目標は、しっかりやりきることです。なぜなら、問題が

とちゅうでわからなくなるとあきらめてしまったからです。

6つ目の目標は、学年目標を意識して生活することです。なぜなら、5年生では意識できず、目標を達成できていないからです。

このようにこの1年、楽しいこと、苦しいことなどたくさんありましたが、全て乗り越えてきました。まだまだ目標とふり返りはあります。これから、全てを来年に生かして目標を達成できるとよいです。

残りの5年生での時間を思いっきり楽しみ、たくさんの思い出をつくりたいです。残りの5年生の時間と来年の6年生が楽しみです。



## 緒川区防災訓練を実施して

昨年度は中止した防災訓練を今年度は、訓練内容を屋外でできる項目に変更して実施しました。



消火栓にホースを接続し建屋に放水する訓練。消火器の取り扱い訓練では、火に近寄りすぎずに火元を払うようにとの助言を受け、「的」目掛けて消火活動。初めての試みとしての部員手作りの倒壊家屋からの救出は、「ジャッキと番木」の取り扱い方等が、手順通りにできるかの体験訓練。非



常持ち出し品の数々と11年が経過した東日本大震災の被災状況のパネル写真を見ての学習。

参加いただいた区民の皆さん、家庭で「防災について」話す機会になればと思います。

防犯・防災部部长 菅沼幸治

## 編集後記

日頃より、機関紙「おがわ」の記事や写真に快くご協力いただいている皆様、お礼申し上げます。

コロナも落ち着きを見せ始め、年末には心待ちにしていました全国旅行支援に申し込んでみました。お得意もさることながら、公に出かけられる爽快感は半端なく、久しぶりのルンルン気分。

今年もこの調子でコミュニケーションも、コロナ対策をしながら、いろいろな活動・行事で徐々に盛り上がっていただけることを期待しております。

「楽しみは自分で見つけよう」を目標に今年も頑張ります。

今号を最後までお読みいただき、ありがとうございます。次号も暖かく見守っていただけると嬉しく思います。